

九十にしてなお母（実母、義母）をしきりに想う

正月に足袋と下駄など買いくれし 母のぬくもり昨日の如し

スミツカレごま汁うどん美味（うま）かりし 母手作りのおふくろの味

（北関東ではシモツカレと言うらしい）

帰宅して母不在なり声上げて 大きく呼べば畑で手を振る

（小学低学年のとき、学校帰りに母が居ないと大声で「おっかさーん」と呼ぶので有名だった）

大宝祭（まち）へ母子三人で線路道 歩めば楽し花火も上がる

仲秋の月を眺めば亡き母と 団子食いたる遠きあの日よ

多賀谷趾に母と餅草摘みし日よ 九十の今も記憶鮮やか

斃れたる母抱き上げて救急車 呼べば今なら助かるものを

少年の日カンナ花咲く我が庭に 白き服着た少女佇む